

## 牛の異常産をワクチン接種で予防しましょう！

- ◆ 昨年は京都府内で11月に流産母牛及び同居牛からヌカカ等が媒介する流行性出血病ウイルス6型の侵入が確認されており（本病に対するワクチンはありません）、ヌカカ等の吸血昆虫で媒介される異常産関連ウイルスの感染リスクが府内で高まっています。
- ◆ 温暖化により、吸血昆虫が活発に活動する時期が早まっていますので、早春から準備が必要です。
- ◆ 下表のワクチンがある異常産関連ウイルスには適切にワクチン接種することで発生を予防しましょう。

疾病名	アカバネ病	アイノウイルス感染症	チュウザン病	ピートンウイルス感染症
発生状況			熊本県 1例 R6.7月	
感染時期	初夏から晩秋			
症状	異常産 死流産 体形異常 神経症状	異常産 体形異常 盲目 起立不能	異常産 神経症状 盲目 起立不能	異常産 体形異常 死流産
予防方法	アカバネ病ワクチン	異常産4種混合ワクチン		



- ◎ 4種混合ワクチンの**初年度接種は2回必要**です。
- ◎ 流死産、奇形などが発生しましたら、当所へご連絡ください。

京都府丹後家畜保健衛生所（京都府家畜畜産物衛生指導協会）  
TEL：0772-43-1125（休日・夜間転送） FAX：0772-43-1124